

第4期 中野区障害者自立支援協議会議事要録

部会名	自立支援協議会（全体会）	回	第9回
日時	2015年 9月14日（月）	13時30分	～ 15時30分
会場	中野区役所7階 第10会議室		
検討内容			
1 会長あいさつ			
<p>障害者差別解消法に基づく各省庁の基本方針が出され、パブリックコメントが募集されている。障害者総合支援法施行後3年を目途とした見直しについても各分野で活発に議論されている。社会福祉法改正案は衆議院本会議で可決後、参議院では議論が進んでいない。マイナンバーは来年1月より利用開始予定、障害の分野でも対応していく必要がある。障害者権利条約批准後の政府報告についても作成が進められている。しっかり見据えて中野区でも対応していきたい。</p>			
2 相談支援機関会議			
◆第15回（6月24日開催）事例総数24件。			
<p>入院時に家族等の支援が望めない場合の対応については個別に検討している。</p> <p>65歳になり介護保険への移行する時に要介護認定で非該当（自立）になるケースがある。サービスが途切れてしまわないような対応が必要となる。中野区では65歳になる方については期間に余裕を持って対応している。</p>			
◆第16回（7月29日開催）。事例総数22件。			
<p>軽度知的障害の方への支援の難しさが課題として上げられた。今後関係機関が連携し、対応していく必要がある。</p> <p>親子ともに高齢のケースでは、双方に支援者が必要だと思われるケース、親にケアマネジメントが付いているケースが増えている。</p>			
《意見交換概要》			
<ul style="list-style-type: none"> • 国でも介護保険と障害福祉サービスの併用に関して議論されており、今回調査が実施された。回答にあたり調査した7月現在の中野区の介護保険利用状況をご報告したい。障害福祉サービスの利用者は1560名程。うち65歳以上の方は143名。26年度中の介護保険移行者は17名、介護保険と障害福祉サービス併用者は42名。65歳以上で、初めて障害福祉サービスを利用された方は63名。うち居宅介護、重度訪問をおそらく介護保険に上乗せで利用されたのが13名。同行援護を65歳以上になって初めて利用された方もいる。 • 65歳以下の障害の方で介護保険を利用されている方は何名か。また、親子ともに高齢のケースについては今後の具体策はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> →重度訪問等利用者の中で介護保険2号被保険者は10名ほど。 • 高齢になった家族の支援については、介護保険法と障害者総合支援法に分かれており、全国的にも課題になっている。自立支援協議会で高齢と障害のサービスの仕組みを確認する必要があるのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> →今後の対応策等については検討させていただきたい。 • 介護保険に移行する時、非該当になりサービスが途切れてしまうというのは、申請をしなかったということか。 <ul style="list-style-type: none"> →65歳になる方については誕生日月の1か月半前に障害福祉サービス終了予定の連絡がある。その時点で介護保険の申請をしていただく。「非該当」は介護保険の要介護判定を経て、非該当（自立）になってしまったという形。その場合は障害福祉サービスを引き続き利用できるよう手配しており、 			

(様式1)

実際にサービスが途切れたということはない。

- ・ケア会議で報告のあったケースについては、その後の状況を報告いただければと思う。
- ・子どもの放課後等デイサービスは来年度倍増するとの予測だが、根拠は何か。

→ここ数年、毎年、利用者数が倍増しており頭打ちになる状況も見えない。区にも放課後等デイサービス事業を立ち上げたいという話がきており、ニーズとしてはまだ増えていくと思われる。

- ・発達障害の子どもたちが利用できるような所が少なく、現状を知りたい。

→障害福祉の就労系の事業所でも、就労訓練に特化した放課後等デイサービスを始めるなど動きが出てきている。ニーズに対して不足しているサービスがあれば、検討する必要があるのではないか。

3 各部会報告

(1) 相談支援部会報告

◆第11回(7月15日開催)

相談支援専門員情報交換会の開催に向けて意見交換を行なった。これから相談事業を行なう事業所からは運営体制について学びたいという声、ご家族からは計画相談のメリットが見えにくいとの声があった。こういった意見を踏まえ、情報交換会を開催したい。

勉強会については、発達障害理解促進勉強会を企画することとなった。

(2) 地域生活支援部会報告

◆第12回(7月14日開催)

◆第13回(8月11日開催)

2回の部会を通し、障害者一人暮らし支援セミナー、グループホーム世話人情報交換会内容の検討を行なった。大家さん向けセミナーは4回目で、今年は一人暮らし支援セミナーとして開催予定。セミナーは講演、当事者の一人暮らし事例報告、グループ討議の3部構成で検討している。

9月8日の部会でグループホーム世話人情報交換会を開催した。今後、負担にならない緩やかな連絡会のような形ができると良いという意見が出ている。

(3) 就労支援部会報告

◆第13回(7月21日開催)

工賃調査の報告、3部会合同セミナーについての意見交換を行なった。

工賃等の実績は前年度と比べ全体的に増加。仕事が優先になり、支援者が利用者のできることを増やす支援を充分できていないと感じている。皆が関われる仕事を取るか、高い単価が得られる仕事を取るか、考える必要がある。

共同受注促進事業で受注した仕事をすべて区内B型事業所で受け切れていない。工程を分解して区内事業所で対応できるようにする、他事業所の取組を学ぶなどの必要がある。共同受注部会では、重度障害者雇用の進んでいる企業を見学した。

〈意見要旨〉

- ・雇用率の伸びに対して、就労系事業者数も増加している。利用者の重度化・高齢化が進む中で工賃向上を目指すのは大きな挑戦だと思う。

4 事業者連絡会報告

(様式1)

(1) 居宅系事業者連絡会報告

10月20日に中野区産業振興センター大会議室にて、研修「障害福祉サービス事業者実地検査の概要」を開催予定。対象の区内居宅系事業者(30ヶ所予定)には、今週中に案内を送付。

(2) 施設系事業者連絡会報告

◆第31回連絡会(7月16日開催)

人材育成をテーマに、区内事業所の状況を紹介いただいた。

1月に施設間職員交流研修を開催予定、現在講師等検討中。

北欧視察報告として、スウェーデン、デンマーク福祉の近況が報告された。両国とも高負担高福祉で住居やマンパワーにおいて手厚さがあり、重度障害者のコミュニケーション研究が進んでいる。障害者に対する国民意識も寛容である。

5 その他

《意見交換概要》

- ・総合防災訓練等で雨天の際、車椅子を雨天時訓練会場である体育館の2階まで上げられないという話になる。車椅子を何人かで移動させる訓練も、行政で取組みが必要なのではないか。
→訓練の時ケガ人を出さないための配慮もあると思うが、ご検討いただければと思う。
- (事務局)担当分野にご意見をお伝えしたい。
- ・町会の総合防災訓練の際は、町会によっては防災委員が家まで迎えに来て訓練を行うこともある。どこの町会でもそうなるよう検討いただければと思う。
→検討いただくということをお願いしたい。
- ・人材育成について、新聞に離職率が高いという記事が掲載されていた。人材の育成と確保を具体的に進めていかなければ人材不足は解決しない。

6 報告事項

◆次回全体会の内容について(事務局)

障害者差別解消法に関して区の対応要領についての報告と、中野区基本構想および「新しい中野をつくる10か年計画」策定の素案を報告予定。

◆情報提供

- ・11月4日、中野特別支援学校の学校公開。当日は地域支援者研修会も行なう。
- ・10月8日の午後、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、東京都知的障害者育成会大研修会を開催。

備考

次回日程 11月9日(月) 13:30~15:30 中野区役所9階第11会議室